

このコーナーでは、水資源機構の環境保全の取り組みを紹介します。

PART 1

味噌川ダム管理所

「山羊さん除草隊」出動！！



そんな山羊ですから、見に来た人みんなの心を「癒やし」で一杯に満たしてくれました。

驚くべき身体能力

ところで、味噌川ダムの堤体法面は、斜度約二十四度という急斜面です。風に吹き飛ばされそうな山羊さんたち。「何だか可哀想だなんて思っていますか。」

ところが、「えっ、何ということだろう！」。山羊は、切り立った堤体法面の岩場の上で、のほほんとした表情のまま立っています。

そうです、山羊は、急斜面に強い体の構造故、人間であれば下を見るとすぐむよような断崖や足場の狭い岩場に、平気で立っていられるのです。驚異の身体能力です。

先行している取組み

この試みには先行事例があります。水資源機構木曾川用水総合管理所美濃加茂管理所の取組みです。

同管理所では、平成二十八年より岐阜大学との共同研究において、「山羊放牧を活用したダム周辺緑地への除草」をテーマに、管理する上飯田調整池（アースダム）の堤体法面を実証フィールドとして、そこに山羊たちを解き放ち、効果の検証を行っています。

検証結果については、次号でご報告いたしますので、お楽しみに。

結び

平成二十九年十一月に美濃加茂市で「全国山羊サミットIN岐阜」が開催され、全国の関係市町村や山羊愛好家の皆さんが集結。ヤギによる除草についても報告を行っています。（木曾川用水総合管理所報告）

味噌川ダムでは、今後も木曾川用水総合管理所等の取



味噌川ダムでは、平成二十九年八月二十九日～三十一日、山羊による堤体除草の試みを実施しました。夏場のこの三日間、十七頭の山羊がダム堤体の『除草隊』として活躍しました。

ロックフィルダムである味噌川ダムでは、堤体の挙動を観測するため、堤体の岩間に生える草を人手をかけて刈っていました。この大変手間のかかる草刈り作業は、若い人から敬遠され、担い手不足が懸念されていました。

そこで、岩場大好き、大得意の山羊さんたちの登場となりました。

その仕事ぶりは、「寡黙」。

山羊たちは、ダム堤体の岩場にすくくと立ち、生い茂る葉っぱを、ムシヤムシヤ、ガシガシ、一途にそして静かに食べていました。

とぼけたような独特の表情は、とても愛らしく、仕事をしている姿は、また何とも頼もしい。

〈追伸〉

組みを踏まえながら、一つのフィールドとしてロックフィルダムでの山羊による除草の検証に取り組んでいきたいと考えています。

味噌川ダムの我ら「ヤギさん推進チーム」には、本家、木曾川用水総合管理所美濃加茂管理所より有力なスーパーメンバーMも加わり、『最強布陣』で臨む今年度。

まずは、この山羊さんたちの圧倒的な『癒やしパワー』を以て、観光資源・地域資源としての可能性を引き出していったらと思っています！

〈味噌川ダムヤギさん推進チーム(M・Y・T)〉

癒やし届け隊「デスク」



園児たちと交流

山羊さん除草隊の姿を一目見ようと、地元、とちのみ保育園の園児たちがダムに遊びに来てくれました。園児たちは、最初は少し怖がりながらも、おとなしくて何とも愛嬌のある山羊さんとお友達になれました。その日の味噌川ダムは、山羊さんと園児たちの癒やしに包まれていました。

